

# 令和元年度 事務事業総点検シート(1)

## [平成30年度事務事業]

<b>一般会計</b>						<b>事務事業分類</b>	C 内部管理事業	<b>詳細点検</b>
<b>事務事業名</b>	行政管理事務					<b>シート番号</b>	03-08	
<b>担当部署名</b>	総務	局	行政	部	行政管理	課	<b>評価責任者(課長名)</b>	上田

### Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します			後期実施計画の位置付け
			施策	1	行財政改革の推進			有
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	— 年度		
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)						
	4	関連計画						
5	事業実施の経緯	市民に信頼される基礎自治体として、行財政改革を推進し、より強固な財政基盤を構築することにより、将来にわたって質の高い行政サービスを安定的に提供していく必要がある。そのためには、内部管理体制の一層の強化に取り組み、業務の効果的、効率的かつ適正な執行を図ることが不可欠となっている。						

### Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市職員				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	内部統制や指定管理者制度に関する各種取組等を推進し、効果的、効率的かつ適正な事務執行の確保を図るとともに、組織のスリム化・合理化を推進し、重要施策等の実現に資する簡素で効率的な組織体制を構築する。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・内部統制体制の整備 平成23年度から実施する内部管理マネジメントの取組等を踏まえ、内部統制制度の導入に必要な体制を整備のうえ、令和元年度に試行的に実施し、課題等の検証及び改善に取り組み、令和2年度からの円滑な制度の導入を図る。 ・内部管理マネジメントの推進 各課において日常業務上のムリ・ムダ・ムラを発見し、仕事のやり方の改善に取り組むとともに、改善意識の醸成を図る。また、局(区)のマネジメントのもと、各局(区)内で共通して実施する改善に向けた取組などの検討等を行いながら業務改善を推進する。 ・行政組織の見直し 重要施策等の実現に資する簡素で効率的な組織体制の整備を図るため、「重要施策の推進体制の強化」「喫緊の課題への対応」「組織のスリム化・合理化」を基本的な方針として、組織の見直しに取り組む。 ・指定管理者制度の適正な運用 市民サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的とする指定管理者制度の意義を踏まえ、同制度の効果的な運用を促進するとともに、指定管理者の管理運営状況等の評価を実施し、評価結果を今後の取組に活用することで施設の効果的かつ効率的な管理運営を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10	直接実施以外の主な支出先	監査法人					

### Ⅲ. 投入量

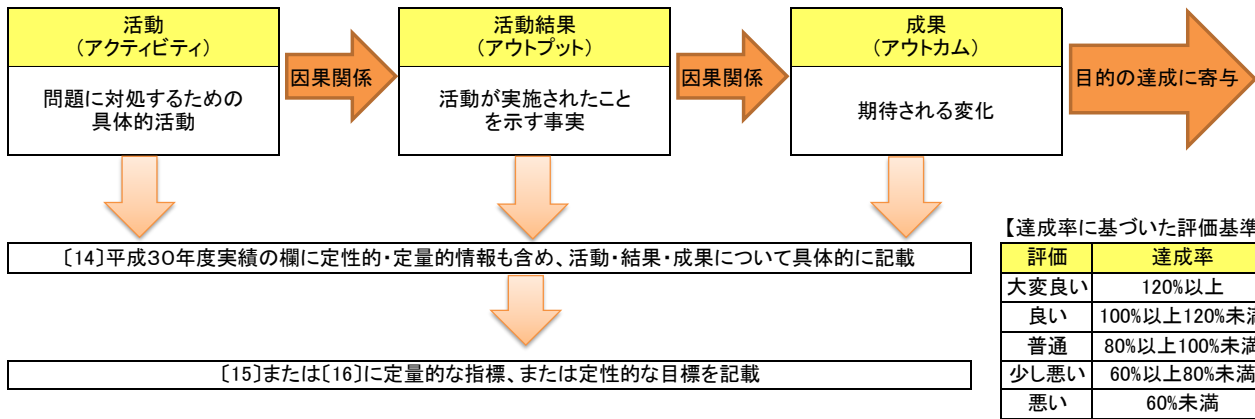
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	事業費 (a)	千円	789	752	6,270	1,215	
	主な事業費内訳	報償費	千円	404	375	324	512
		需用費	千円	107	111	97	110
		旅費	千円	248	229	108	269
		委託料	千円			5,541	
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	789	752	6,270	1,215
12	人件費 (b)	千円	54,860	47,480	48,420	52,095	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	55,649	48,232	54,690	53,310	

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	行政管理事務	シート番号	03-08
-------	--------	-------	-------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制体制の整備 地方自治法(昭和22年法律第67号)の一部改正により、令和2年度から導入される内部統制制度の構築に関して、先進都市の視察を行うほか、庁内検討会議を開催し、関係課との意見交換の実施等を通じて、制度導入に向けた課題の整理や解決策の検討、具体的な実施手案の策定などに取り組んだ。</li> <li>内部管理マネジメントの推進 業務改善の取組のさらなる推進を図るため、各課における内部管理マネジメントの取組に加え、局(区)内で共通して実施する取組や各課では対応困難な取組の検討等を行いながら、局(区)のマネジメントのもとで業務改善を推進する取組を実施した。また、各局(区)の取組内容の共有や業務改善事例の発信を行うことで、取組の促進や改善意識の醸成を図った。</li> <li>行政組織の見直し 組織改正にあたっては、「重要施策の推進体制の強化」「喫緊の課題への対応」「組織のスリム化・合理化」を基本的な方針として、各局とのヒアリングを実施のうえ、協議及び調整を重ね、効果的かつ効率的な行政運営の確保に資する組織体制の構築に向け、平成32年4月に組織の見直しを行った。</li> <li>指定管理者制度の適正な運用 指定管理者制度の運用については、市と指定管理者の責任と役割を踏まえつつ、より効果的で効率的に制度の運用を行うため、「指定管理者制度活用のためのガイドライン」を改訂し、報告事項の見直しや施設の特性に応じて報告書の提出頻度を選択する仕組みへと見直すなど事務手続きの改善を図るとともに、市と指定管理者による定期会議の開催を明確に位置付けるなど指定管理者への適時適切な指導監督の徹底を図った。</li> </ul>							
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			指定管理者評価における利用者満足度関連の目標達成率	%	目標値	-	-	74	77
					実績値	-	-	73.5	
	達成率				-	-	99.0%		
	評価	-			-	普通			
	算出方法・設定根拠など		H32年度の目標達成率80%以上に向けて、段階的に向上を図る。						
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	評価								
	算出方法・設定根拠など								

### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制体制の整備 早期に取組を開始し、これまでの内部管理マネジメントの取組により把握するリスクの分析や、先進事例等の情報収集などに取り組むとともに、関係課との意見交換なども実施したことにより、令和元年度の試行実施に向けて着実に準備を進めることができた。</li> <li>内部管理マネジメントの推進 平成30年度から局(区)のマネジメントによる業務改善の取組として、各課の職員が日常的な気づきから改善に導く手法に加え、局(区)又は局長(区長)のマネジメントのもとで、局(区)内の共通事項等について改善を図る手法の両面から業務改善を推進したことは、有効であったと考える。今後は改善事例を蓄積のうえ活用し、さらなる推進に繋げることが必要である。</li> <li>行政組織の見直し 他市の組織体制についての情報収集や、組織の見直しに向けた検討事項を提示のうえ各局とのヒアリングを実施したことなどにより、協議及び調整が円滑に進んだ。今後も重要施策の推進など行政運営の方向性に注視しながら、組織改正に取り組むことが重要である。</li> <li>指定管理者制度の適正な運用 平成30年度の「指定管理者評価における利用者満足度関連の目標達成率」は99.0%となり、概ね目標どおりの水準を達成した。 施設の適正な管理運営の確保に関する取組としては、施設所管課との意見交換等を実施のうえ、ガイドラインの改訂に取り組み、一定の改善が図られた。</li> </ul>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。